平成２４年１２月１５日発行

第 22 号

広報部会

石部南学区
まちづくり協議会広報

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

石部南学区ふれあい祭

平成24年度 ふれあい祭

11月11日（日）石部南まちづくりセンターで、曇り空のもとふれあい祭りが開催されました。大島実行委員長の開会宣言、浅原教育長ご祝辞のあと、玄関前で太極拳の演技がスタート。続いて各種の展示、模擬店が開始されました。屋外では、そば打ち体験、もちつき体験、いもつぶし体験、そして各種の試食コーナーが大好評。降り出した雨をものともせず、大勢の人が楽しみました。屋内では、天体望遠鏡、パソコン教室、２階では学区民の皆さんの力作の展示、各区の年間活動や各部会の活動報告等、盛りだくさんの作品が展示されました。また、今回は近江学園のふれあい広場との連携開催で、会場間をシャトルバスで結ぶ試みも行われました。

会長開会の挨拶

浅原教育長の挨拶

来賓の方々

太極拳の演技でスタート

ふれあい祭り会場風景

近江学園・ふれあい広場風景

体験コーナー

もちつき体験

石焼芋

そば打ち体験

芋つぶし体験

ぜんざいコーナー

地産地消販売

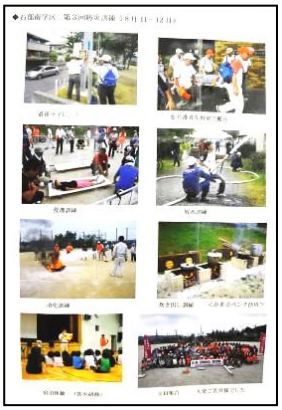
パソコン教室

天体観測

福祉施設
展示販売

展示コーナー

部会活動展示



まちづくり協議会総合

声かけ・あいさつ運動作品展示

環境部会

安心安全部会

生涯学習部会

広報部会

まちづくり協議会 先進地視察研修

11 月 15 日(木)、石部南学区まちづくり協議会では、湖南市主催の岐阜県瑞浪市の視察研修に土居さん前谷さん田中さんの３名が参加しました。瑞浪市のまちづくり組織の状況や日吉町まちづくり推進協議会の取り組み、日吉公民館の取り組みについて　質疑応答、意見交換等を行いました。その後、天狗の台所(日吉町) と明神神社の大杉保護整備事業(大湫町)を視察しました。

部会活動紹介

環境部会

10月21日(日)ごみ拾いウォークを実施しました。また11月25日(日)には、花苗の植え付け作業をし、パンジー・ビオラ・桜草のプランターを各区へ配布しました。

福祉部会

１０月２３日(火)雨山第２体育館で、まち協小地域福祉活動として「ビーンボウリング・輪投げ大会」を開催しました。参加者はビーンボウリング９チーム、輪投げ７チームで合計４８名でした。

優勝　・ビーンボウリング→宮の森 E
　　・輪投げ→宮の森 A

生涯学習部会

１１月１８日(日)より１２月１日（土)、じゅらくの里で「声かけ・あいさつ運動」の標語ポスター展示会を開催しました。多くの学区民の皆様に、来場いただきました。

広報部会

11月11日(日)のふれあい祭りで、「写真撮影即プリント配布サービス」を実施しました。体験写真の配布は、好評でした。

福祉施設紹介

いち　ばく

社会福祉法人大木会　　一　麦

外観はヨーロッパ風の一麦の寮舎です

一麦寮は、昭和 36 年に大津の南郷に知的障がいのある男子の年長児童の施設として開設されました。昭和 45 年に石部に移転し、昭和 49 年に女子 10 名が入所して、成人施設に切り替わっています。そして、平成 16 年 7 月に現在の新寮舎が完成しました。50 名定員で 10 名単位の生活ユニットが５つ、繋がり合っています。開設以来、寮生さんと職員ができるだけ寝食を共にし、家庭的な雰囲気を大切にしようと、取り組んでいます。職員のほとんどが、寮敷地内に住んでいるのも特徴です。この 4 月より、一麦寮から“一麦”に施設名称が変更しました。50 年を越える歴史を大切にしながらも、施設の事業活動がもっと広い視野のもとに展開されることを願ってのことです。今後共、よろしくお願いいたします。

夏はプールで楽しんでいます

各自治会活動だより

宝来坂区

１０月２０日（土）雨山で、かなかなサロンの最大のイベントとして「ハイキング+バーベキュー」を総勢５１名で実施しました。３世代家族の参加はかなかなサロンの望みでした。

１１月１８日（日）宝来坂集会所で、健康推進委員主催の冬季伝達料理講習会が開催されました。参加者は２０名でした。

石部南区

９月 15 日(土)　柑子袋まちづくりセンターで「敬老の集い」が開催されました。参加者は８０名でした。

１０月６日(土)「いも堀り体験といも料理」のイベントが、南まちづくりセンターと黒木農園で行われました。

西寺・丸山区

10月7日(日)区民の集いが開催され、グラウンドゴルフ大会の後、集会所で会食を楽しみました。その後、人権学習会が開催されました。

11月18日（日）西寺集会所で恒例の収穫祭が催されました。そば打ちとコンニャク、芋つぶしに分かれて参加者全員で楽しみ、その後おいしくいただきました。

東寺区

10月7日(日) 長寿寺参道をグラウンドにレクレーション大会を開催しました。天候にも恵まれ、約200名の参加で交流を深めることが出来ました。

11月16日から湖南三山めぐりが始まりました。長寿寺では、今回57年ぶりの「本尊子安地蔵菩薩」の御開帳(16日～25日)があり、長寿もち、芋つぶし、地元野菜、食品の販売等でにぎわいました。

宮の森区

10月21日(日) 宮の森集会場で防災活動の訓練を実施しました。災害図上訓練（DIG）を通じて、自主防災員22名が、自治会の危険予測についてシミュレーション検討を行ないました。

10月27日(土) 地域のきずなをテーマに「人権学習」を実施しました。講師はあすぱる甲賀の黄瀬重義課長。参加した自治会員31名が意見交換を行ないました。

11月25日(日) 冬季料理教室を開催しました。女性会員19名が、健康推進員の指導のもと、季節料理の調理に挑みました。

連載 歴史の小径

第11回

雨山（水神の宿る山）

竹内利夫氏著

標高 280m山頂の竜王碑

保健保安林に指定され全国森林浴百選に選ばれて環境保全の場となり、多くの野鳥のさえずりと共に多くの花木が群生し、四季折々に咲き乱れる中をハイキングコースが整備され、健康保持や憩いの場所として多くの住民に親しまれている。又、歴史資料館をはじめ宿場の再現や数々の体育施設等と共に住民の命ともいうべき水を石部地域が一日に使用する水量の 60％強の配水池が設置されて住民にはなくてはならない地域となった。昭和初期を振り返ると一般家庭割で地域の割り当てをされ柴刈りや薪を作り、各家庭に分配されていたが学校でも生徒が（私たちも参加した）雨山で学内のお茶を沸かしたり暖をとる柴や薪を作りに奉仕作業に出動した記憶がある。

この雨山は石部山では最高峰であり標高 280mの山頂には竜王碑が建立され阿星山の〇西寺〇東寺の竜王山と同じく雨の必要な時期には集落より水を汲み上げ雨乞いがあり行われた場所であり、水の神が宿る山と考え、農耕にはなくてはならない水神の山であり、主なる生活の場いであった。里からは神のやどる信仰の場として昭和初期まで崇め続けられた。

又、280mの山頂は幕府の統制下の時代は農を主として作物を作っても年貢として幕府に徴収され農民の口にさえ十分に入ることができず、米であればなおさらのことであったが、幕府から明治政府に変わり、幾分米の価格も安定し始め相場で決定した高低を大津の山より旗信号で受け継ぎ甲賀谷の方に旗で通報した大事な中継所として大きな役割を果たした場所でもあった。

もっと古き時代、甲賀守護の佐々木六角氏（高頼）は栗東の釣の陣で有名な足利義尚の率いる軍勢を迎え撃つためこの雨山で作戦を練った所でもあり、義尚の敗退後　足利義材将軍を再度迎え撃つのに甲賀武士と共に（甲賀忍者）ゲリラ戦を展開するために多く入り込んだ谷を有効に利用し雨山の地を基地とした。足利義材もこのときも六角氏を討ち果たす事ができなかった。その後、突如として頭角を現した武将・織田信長は、六角打倒を掲げ、六角氏は甲賀武士と共に連絡を取り長寿寺や常楽寺を本陣とし、雨山地域をゲリラ戦に備えて織田の軍勢を迎えた。この時、元亀元年６月５日を境として野洲の河原一帯や雨山等で合戦が繰り広げられたが、あまりの織田の勢力に恐れをなして阿星山を越え、信楽方面に撤散した。六角氏の完全な敗退であった。甲賀武士はその後、信長の軍門に下っていったとある。この雨山は古戦場ともなった場所であった。

古きを顧みると雨の神の宿る山と崇められ、歴史の流れと共に多目的に活用された山であった。現在も住民の為になくてはならない必要な地域となっている。

石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス
http://www.ishibe-minami.net/
メールアドレスは　info@ishibe-minami.net